

# 2025年3月期 決算概要および企業価値向上 への取り組み

---

2025年5月14日

人への想いが、かくし味。



- ① 事業の概要
- ② 2025年3月期外部環境変化・決算概要
- ③ 2026年3月期業績予想・展望
- ④ 株主還元
- ⑤ サステナビリティへの取組

# 1

# 事業の概要

業務用食品事業・ヘルスフード事業・海外事業

を展開する食品メーカー



メニュー提案で他社と差別化！

鶏卵加工品・巻寿司具材の

リーディングカンパニー

## POINT

- メーカー兼卸売りの製造直販
- 業務用巻寿司具材でトップクラスのシェア
- 玉子焼等の鶏卵加工品でトップクラスのシェア
- 1万点以上の商品ラインナップ



# 事業概要 | 業務用食品事業

味付干瓢



味付椎茸



おぼろ



厚焼玉子





牛カルビ



炙りトロダサバフィーレ



伊達巻



カニ風味蒲鉾



花蒲スライス



ポテトサラダ



若鶏のむねトロ竜田揚げ



おはぎ



小松菜和え物



玉子焼まどか睦月







**健康食品分野へ進出！**

**ごぼう茶売上35億円を達成し**

**健康茶市場を牽引**

## POINT

- あじかん初の一般消費者向け製品
- 日本初「ごぼう茶」を機能性表示食品として販売
- ごぼう茶以外のスープやチョコレートなど新たな美味しくて健康により商品も開発
- サプリメントへも挑戦

## 通信販売

あじかん ごぼう茶



あじかんショップ  
**美食生活**

TVCM放送中!



お通じを改善する  
ごぼうのおかげ

機能性表示食品

新商品!



便通改善+お腹の脂肪減少  
ごぼうのおかげW

機能性表示食品



ごぼう茶の粒タイプが  
できました

イチョウ葉プラス

機能性表示食品



大切な人に飲んでほしい  
スープができました。

栄養とろける  
ごぼうスープ



ごぼうから生まれた  
チョコレート風味菓子

GOVOCE  
(ゴボーチェ)

自社通販) あじかん美食生活  
他社通販) amazon, 楽天など

## 店舗販売

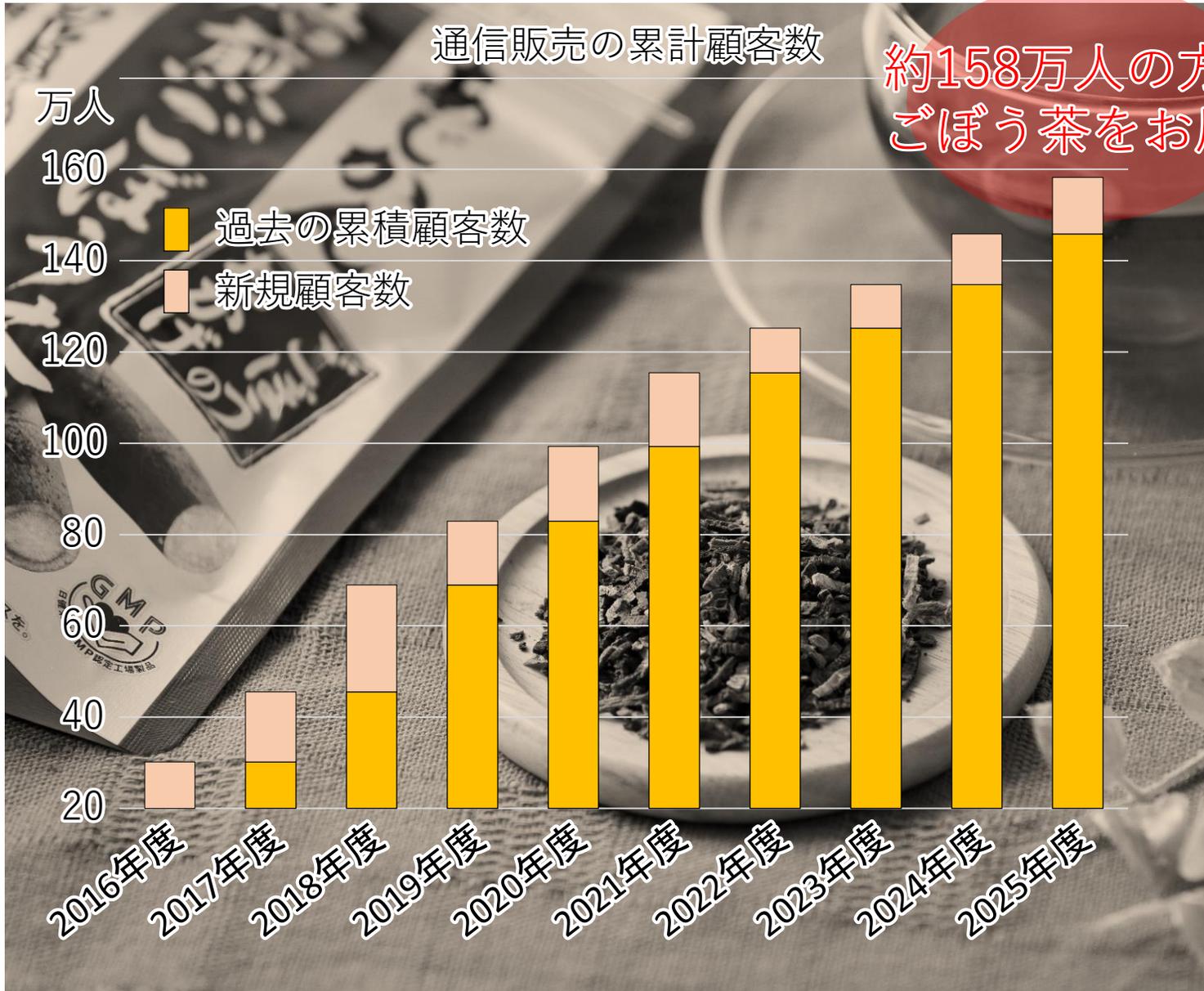


スーパーマーケット

ドラッグストア



その他)  
調剤薬局、雑貨屋など





**売上高20億円突破！**

**鶏卵加工品・巻寿司具材・**

**和惣菜のニーズが増加**

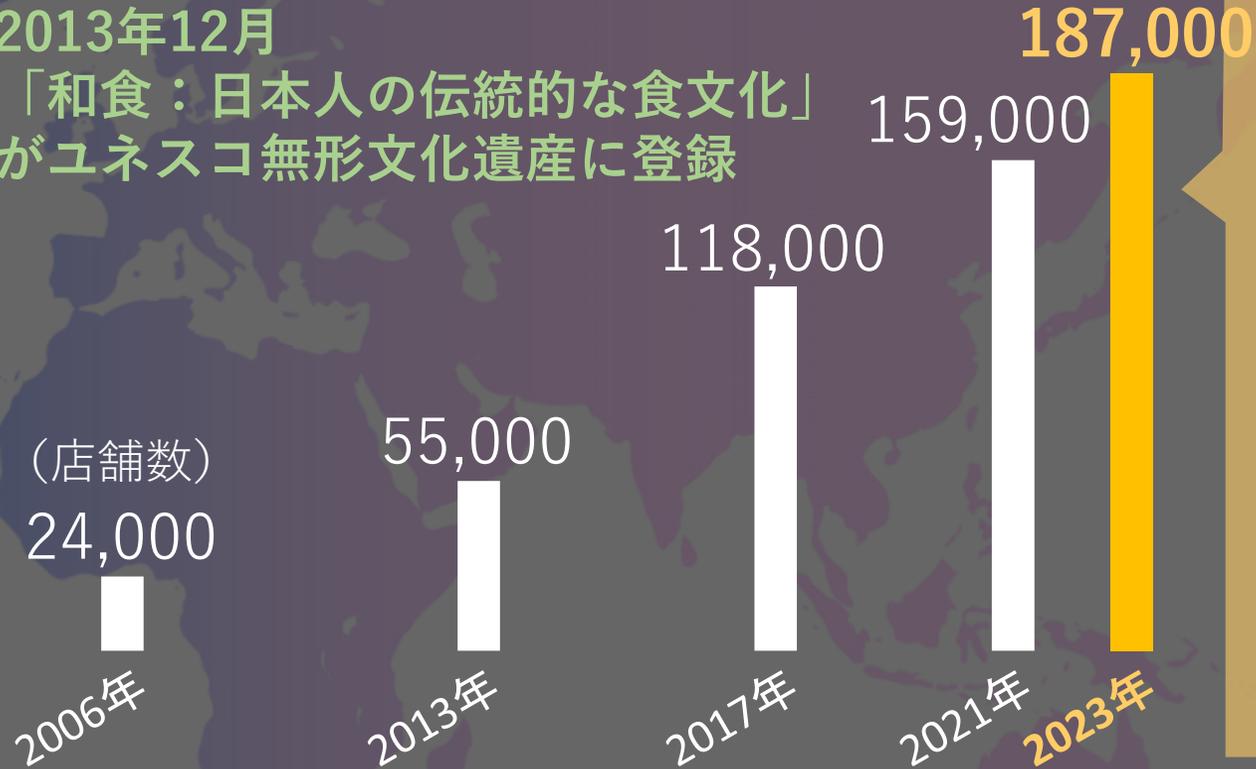
## POINT

- 中国で2工場を展開。現地での製造直販を強化
- アメリカに現地法人を設立し、販売強化
- アジア・EU新規エリアへ販売拡大
- 和食はユネスコ無形文化遺産

## 世界の日本食レストラン数の推移

2013年12月

「和食：日本人の伝統的な食文化」  
がユネスコ無形文化遺産に登録



### 2023年の地域別の店舗数 (2021年比)

アジア 122,000店 (+21,000)

北米 28,600店 (▲3,000)

欧州 16,200店 (+3,000)

中南米 12,900店 (+7,000)

ロシア 3,200店

オセアニア 2,500店

中東 1,300店

アフリカ 690店



1 億円以上

中国・アメリカ・香港・  
シンガポール・オーストラリア

5 千万円以上

カナダ

取引実績有

台湾・韓国・マレーシア・タイ・  
ニュージーランド・ベトナム・  
スイス・ドイツ・イギリス・ドバイ



国内

株式会社あじかん  
アグリファーム

【主な事業内容】  
農作物の生産、販売など

原材料

**INOKO**  
agency 株式会社 井口産交

【主な事業内容】  
冷凍・冷蔵食品の幹線輸送便など

配送委託

▲ **あじかん**

海外

製品

愛康食品(青島)  
有限公司

持分法適用関係会社

【主な事業内容】  
食品の製造、販売

原材料・消耗品

製品・原材料

山東安吉丸食品  
有限公司

【主な事業内容】  
食品の製造、販売

原材料

製品・商品

AHJIKAN  
FOODS,INC.

【主な事業内容】  
食品の販売

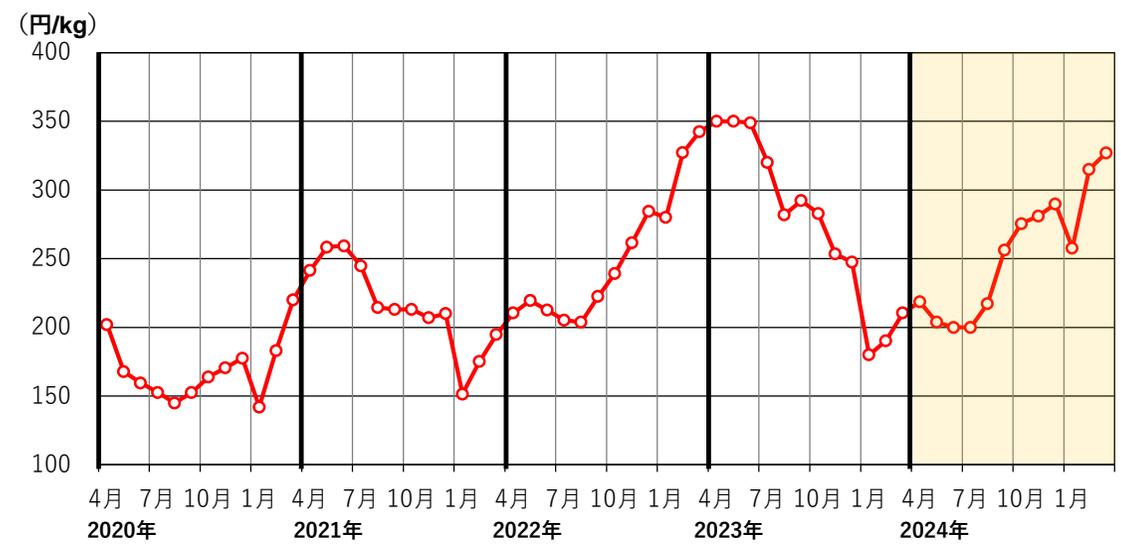
**2**

**2025年3月期**

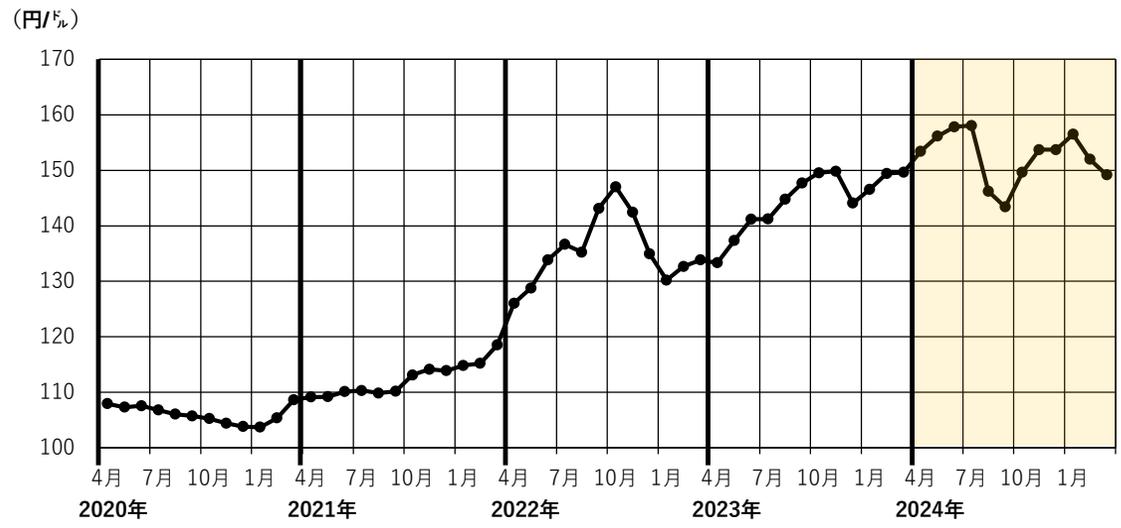
**外部環境変化・決算概要**

# 2025年3月期 外部環境変化 | 鶏卵原料、為替等

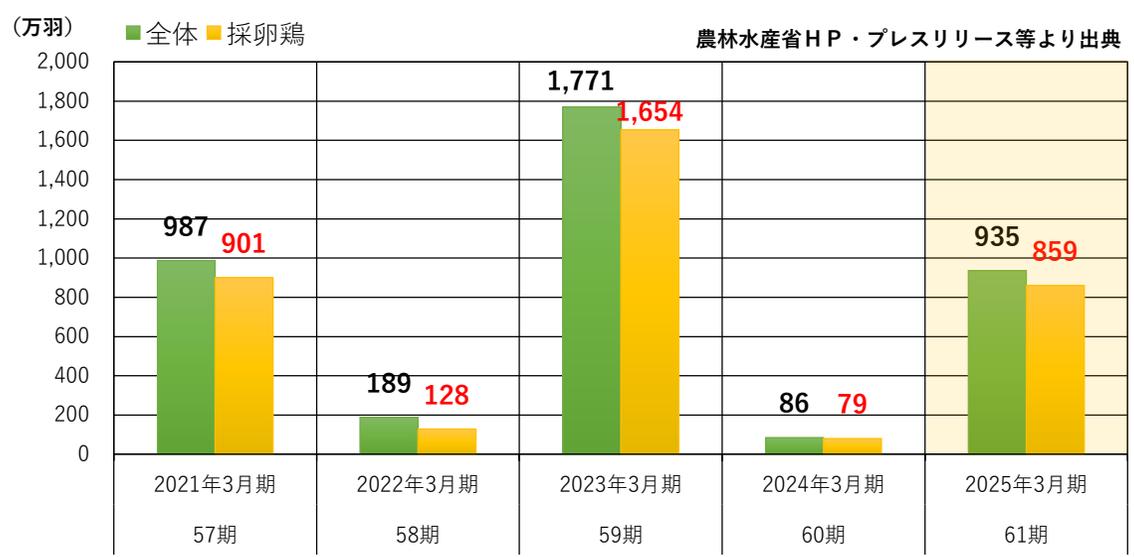
■鶏卵価格（東京M相場）



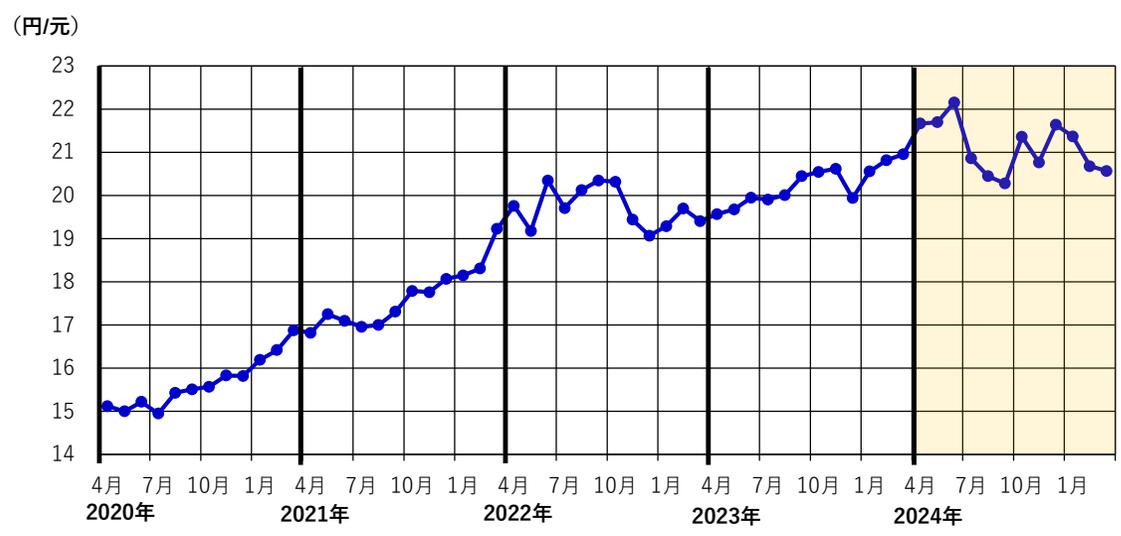
■為替平均価格（円／ドル）



■鳥インフルエンザ発生状況



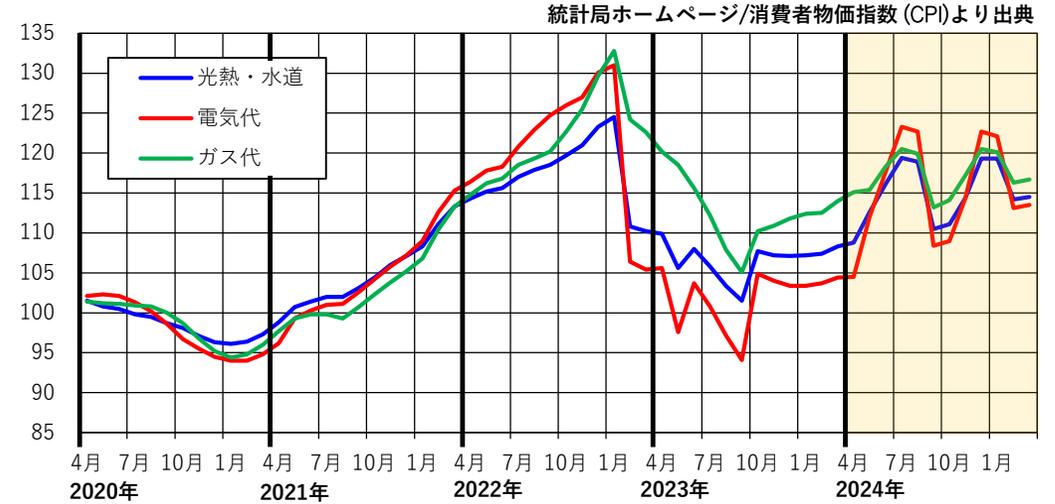
■為替平均価格（円／元）



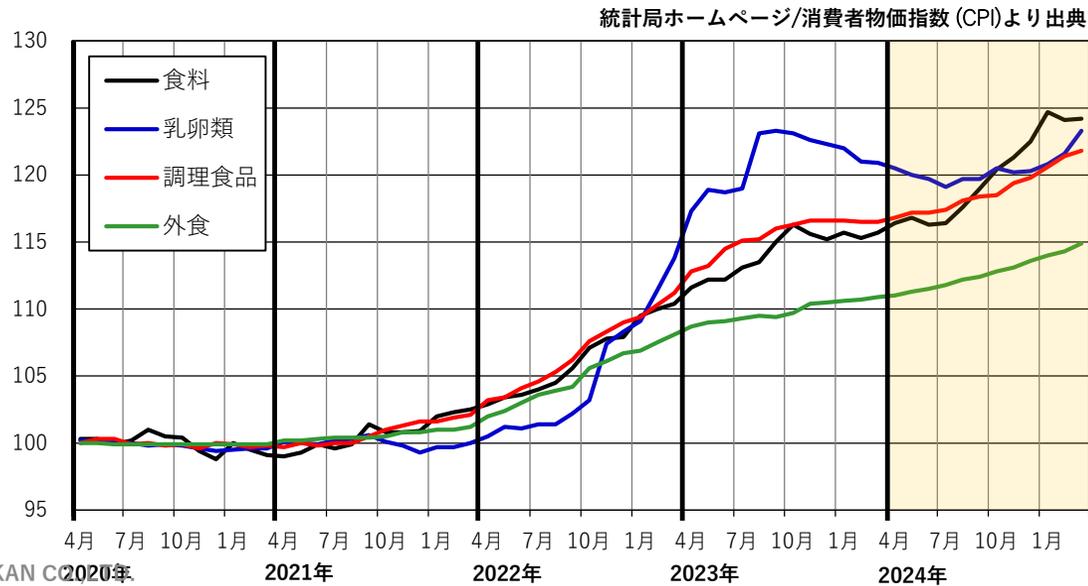
## ■最低賃金 全国加重平均額推移 (円/時)



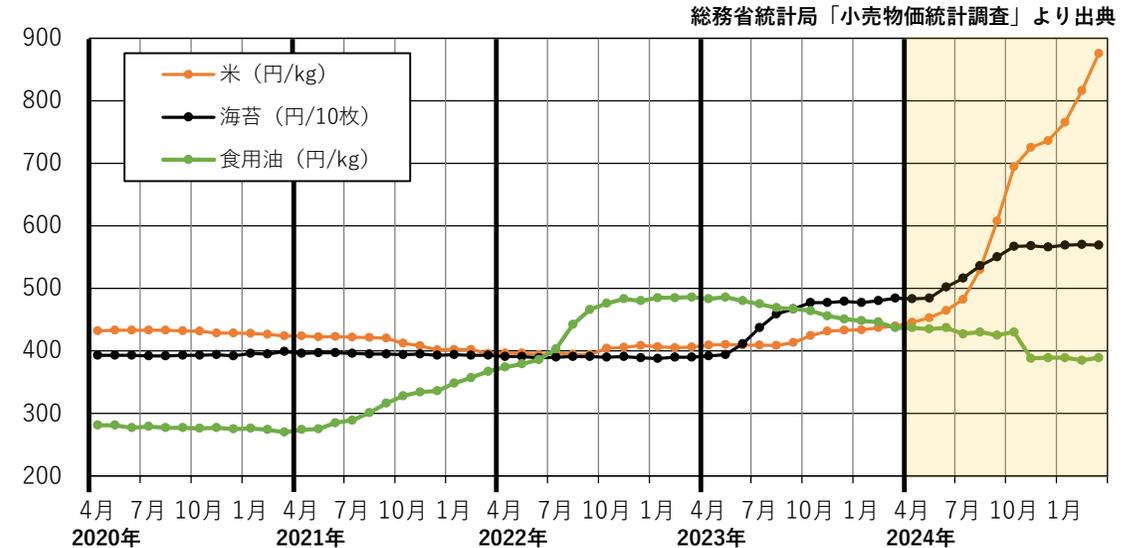
## ■エネルギーに関する消費者物価指数 (指数：2020年=100)



## ■食に関する消費者物価指数 (指数：2020年=100)



## ■米、海苔、食用油の小売物価推移



■ 4期連続増収、2期連続増益 (営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益)

(売上高) 業務用食品・ヘルスフードの両セグメントともに増収 (+1.6%)

(営業利益) 人件費や物流費などコスト上昇要因もあったが、主要原材料価格が秋口まで安定し、増益 (+14.9%)

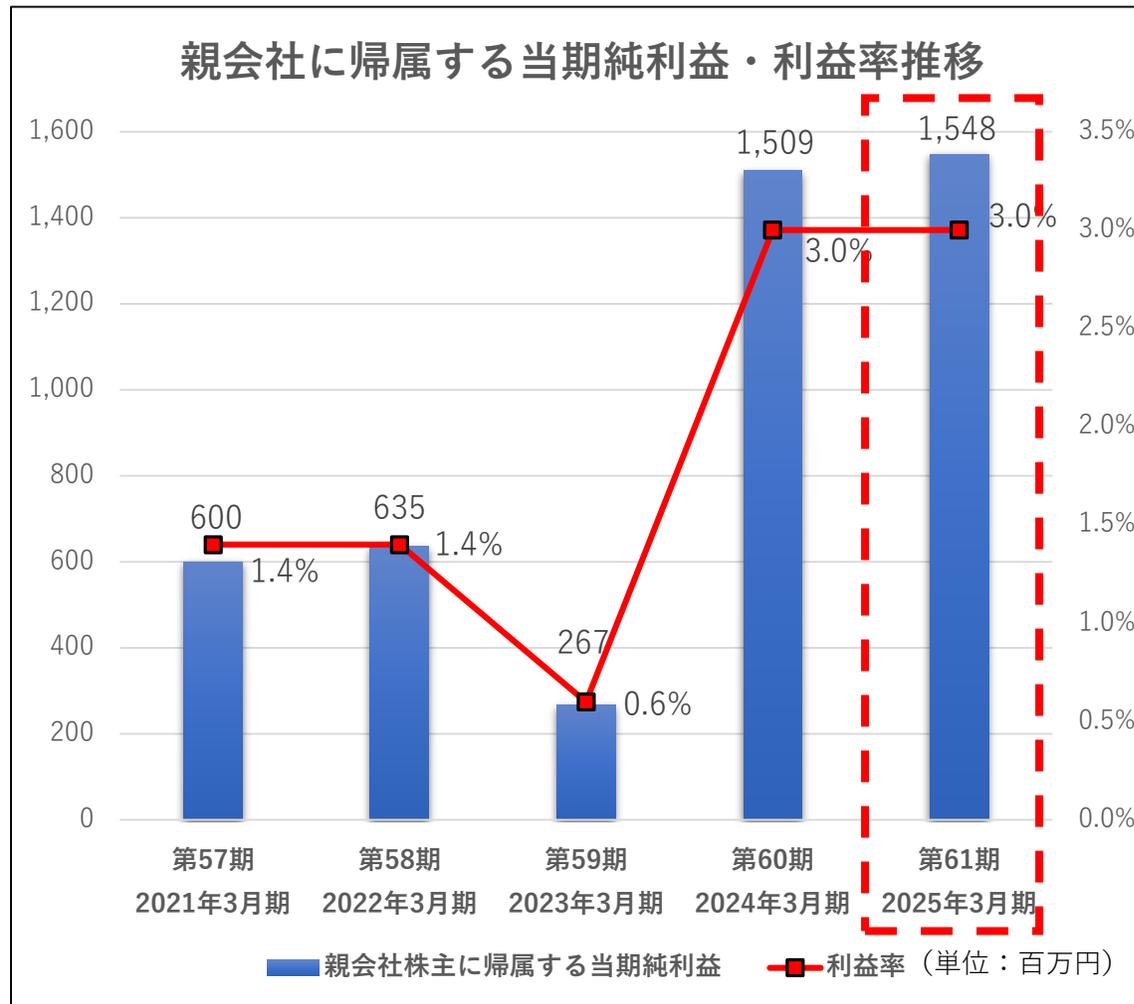
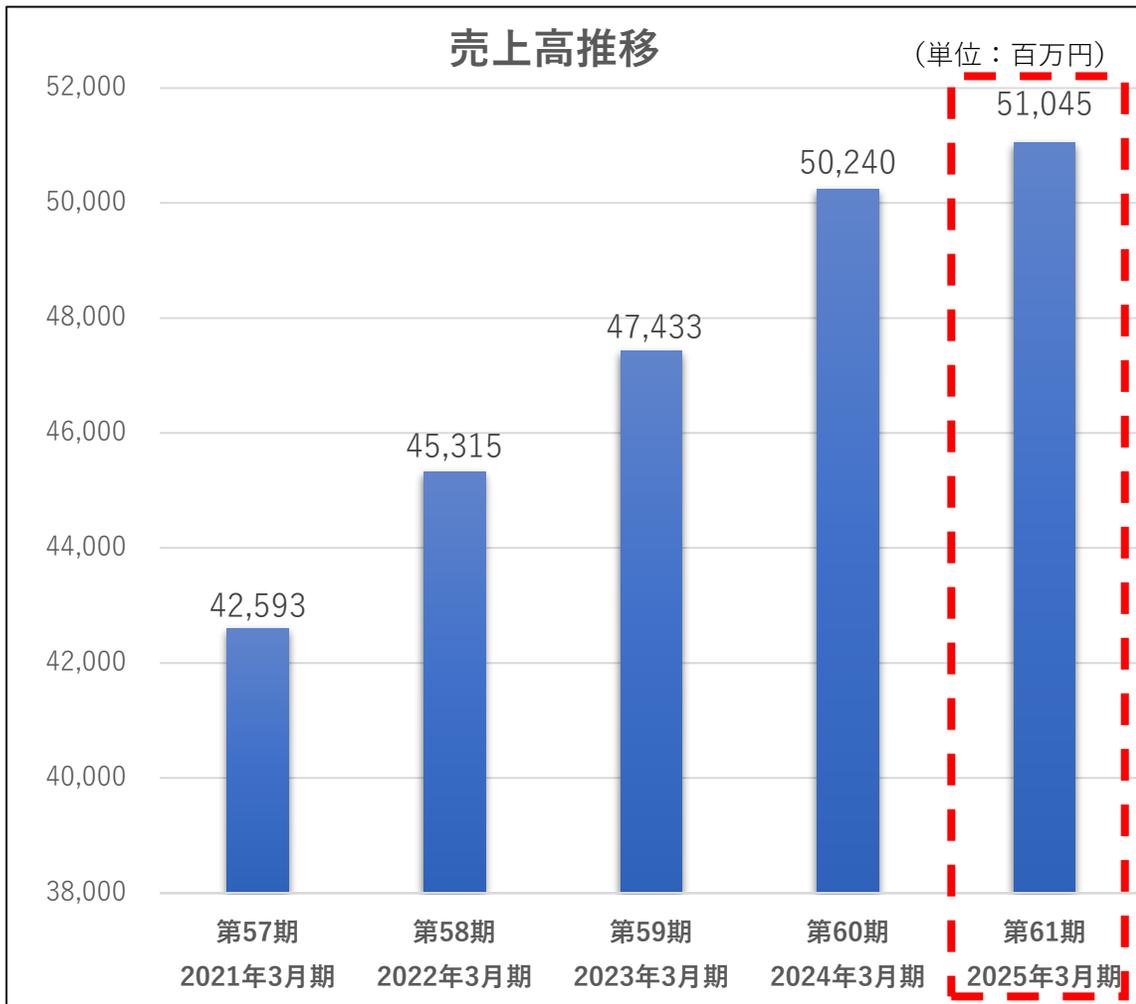
(経常利益) 為替予約の時価評価が損失に転じたことなどにより減益(▲2.0%)

(親会社株主に帰属する当期純利益) 減損損失などの計上はあったが、賃上げ促進税制の活用により増益 (+2.6%)  
(単位：百万円)

連結会計年度	第60期 2024年3月期	第61期 2025年3月期	前連結会計年度差	前連結会計年度比
売上高	50,240	51,045	+ 805	101.6%
売上原価	37,673	37,490	▲183	99.5%
売上総利益	12,566	13,554	+ 988	107.9%
販売費及び一般管理費	10,856	11,590	+ 734	106.8%
営業利益	1,710	1,964	+ 254	114.9%
(利益率)	3.4%	3.8%	+ 0.4pt	—
経常利益	2,266	2,221	▲45	98.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,509	1,548	+ 39	102.6%
(利益率)	3.0%	3.0%	+ 0.0pt	—
(EPS・円)	198.38円	203.52円	+ 5.14円	—

# 2025年3月期決算概要 | 連結業績推移

■ 2025年3月期の売上高・親会社株主に帰属する当期純利益は共に過去最高



(単位：百万円)

連結会計年度	第60期 2024年3月期	第61期 2025年3月期	前連結会計年度差
営業キャッシュ・フロー	1,376	3,455	+ 2,079
投資キャッシュ・フロー	▲1,100	▲763	+ 337
財務キャッシュ・フロー	▲247	▲2,578	▲2,331
現金及び現金同等物期末残高	2,096	2,255	+ 159
総資産	27,640	26,897	▲743
借入金	5,308	3,086	▲2,222
純資産	15,844	17,388	+ 1,544
(自己資本比率)	(57.3%)	(64.6%)	+ 7.3pt

# 2025年3月期決算概要 | 業務用食品事業の業績

鳥インフルエンザの影響で落ち込んだ玉子製品の需要を回復するため、メニュー提案や販促活動強化により、  
外食チェーンの売上や玉子製品を中心に伸長し増収。  
海外輸出売上は品揃えを強化したことで北米や香港を中心に需要が拡大。

## オムライスキット



白米にチキンライスの素を混ぜる



チキンライスの出来上がり



れあとろたまごをかけて



デミソースをかければオムライスの完成!



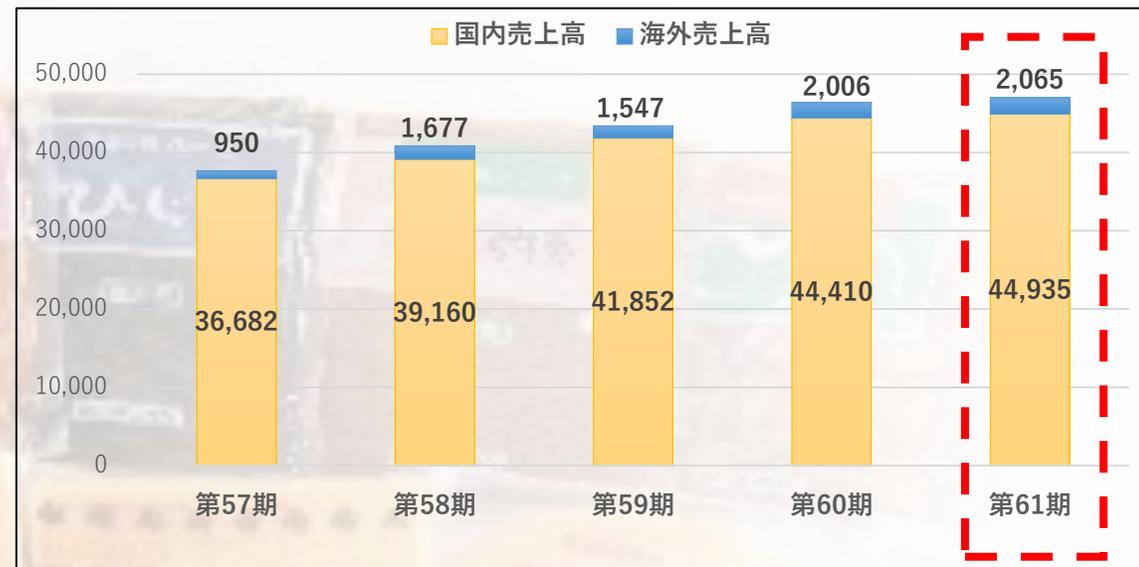
海外品も豊富!

# 2025年3月期決算概要 | 業務用食品事業の業績

セグメント利益は、人件費、物流コスト上昇などの影響を受けたが、原材料価格が前連結会計年度を下回ったことや、生産高増加による固定費率の低下、生産効率向上などが奏功し増益。

(単位：百万円)

連結会計年度	第60期 2024年3月期	第61期 2025年3月期	前連結会計 年度差	前連結会計 年度比
売上高	46,417	47,000	+ 583	101.3%
国内売上	44,410	44,935	+ 525	101.2%
海外売上	2,006	2,065	+ 59	102.9%
(うち 自社製品)	25,256	26,004	+ 748	103.0%
セグメント利益	3,370	3,652	+ 282	108.4%
利益率	7.3%	7.8%	+ 0.5pt	—



「焙煎ごぼう茶ごぼうのおかげW」をはじめとした機能性表示食品の売上が好調に推移し増収。



チョコレート風の食品素材「MelBurd」を開発

2024年11月発売

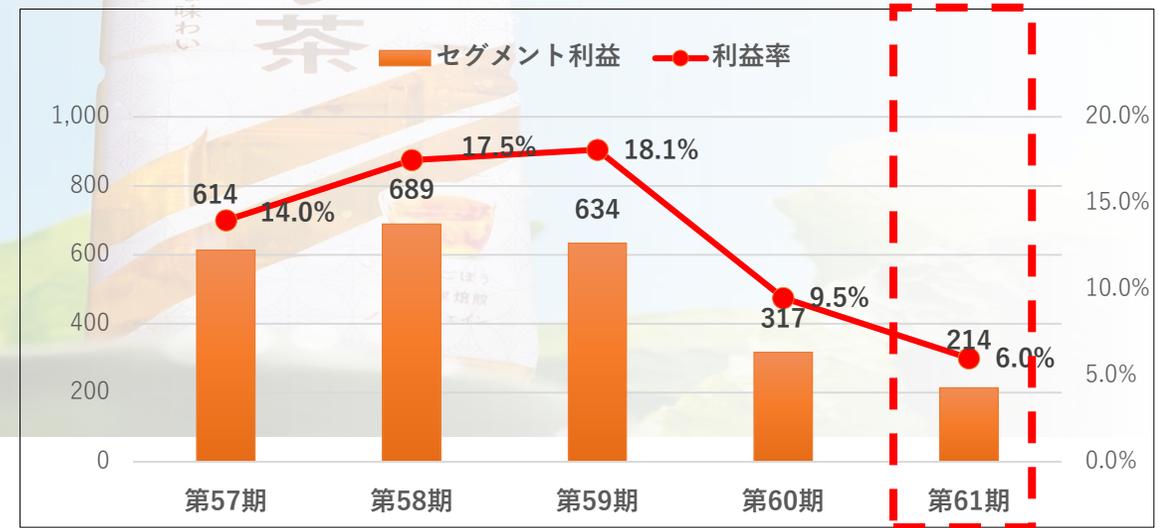


# 2025年3月期決算概要 | ヘルスフード事業の業績

セグメント利益は、ごぼう原料の高騰や、戦略的な広告宣伝の実施などにより減益。

(単位：百万円)

連結会計年度	第60期 2024年3月期	第61期 2025年3月期	前連結会計 年度差	前連結会計年度比
売上高	3,346	3,585	+ 239	107.1%
うち自社製品	3,257	3,503	+ 246	107.6%
セグメント利益	317	214	▲103	67.5%
利益率	9.5%	6.0%	▲3.5pt	—



# **③ 2026年3月期 業績予想・展望**

売上高  
前期比+1.9%

52,000百万

価格改定や新製品の導入などにより増収を見込む

営業利益  
前期比▲10.9%

1,750百万

増収によるプラス効果はあるものの原材料の高騰や諸経費の増加により減益を見込む

経常利益  
前期比▲16.7%

1,850百万

営業利益の減少に加え、円高移行による為替関連での収益減を見込む

親会社に帰属する  
当期純利益  
前期比▲21.2%

1,220百万

EPS  
1株当たり当期純利益

160.30円

# 2026年3月期 | 連結業績 セグメント予想

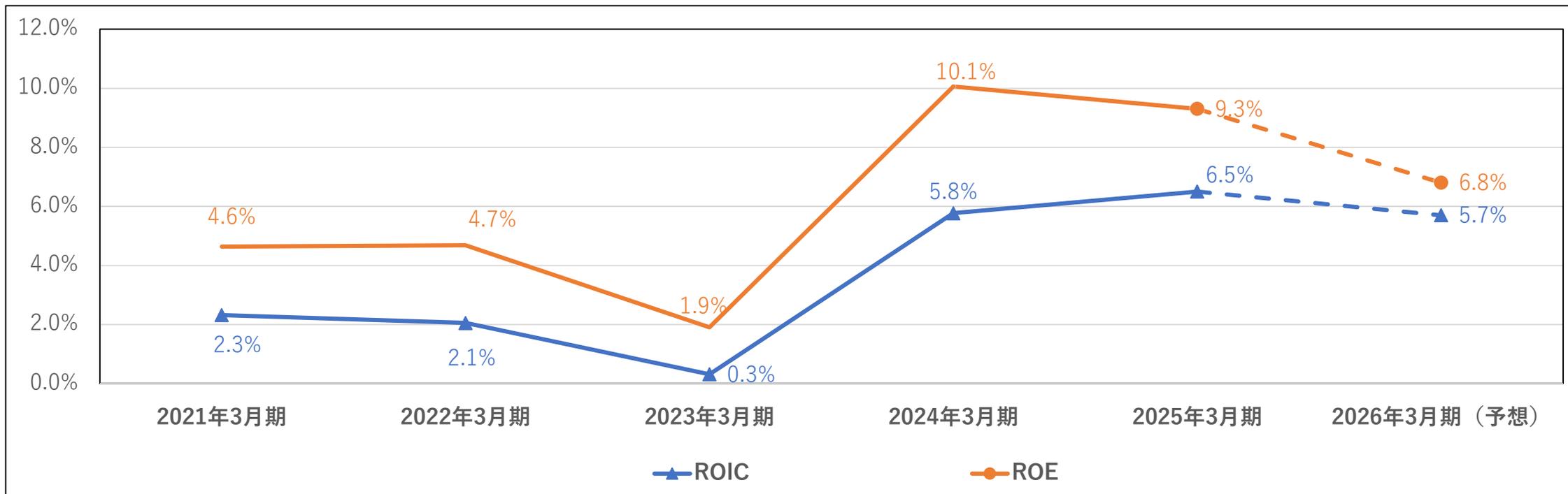
## 業務用食品事業

連結会計年度	第61期 2025年3月期	第62期 2026年3月期 【予想】	前連結会計 年度差	前連結会計 年度比	主な増減要因
売上高	47,000	47,450	+ 450	101.0%	+ 要因：売価改定、新製品導入
セグメント利益	3,652	3,400	▲252	93.1%	+ 要因：売上拡大効果、円高による外貨建て輸入コスト減 ▲要因：原材料価格上昇、物流コスト増

## H F 事業

連結会計年度	第61期 2025年3月期	第62期 2026年3月期 【予想】	前連結会計 年度差	前連結会計 年度比	主な増減要因
売上高	3,586	4,100	+ 514	114.3%	+ 要因：新製品導入、売価改定
セグメント利益	214	250	+ 36	116.6%	+ 要因：売上拡大効果 ▲要因：ごぼう原材上昇、広告宣伝拡大、物流コスト増

# 2026年3月期 | 通期連結参考資料



	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
EBITDA	1,749百万	1,616百万	1,151百万	2,837百万	3,155百万	3,100百万
PBR	0.5倍	0.5倍	0.4倍	0.6倍	0.5倍	(目標) 1.0倍以上
DOE	0.9%	0.9%	0.9%	1.3%	1.4%	2.2%
1株配当/円	15.00 (普通配当15.00)	15.00 (普通配当15.00)	16.00 (普通配当15.00) (記念配当 1.00)	25.00 (普通配当15.00) (特別配当10.00)	30.00 (普通配当25.00) (特別配当 5.00)	52.00 (普通配当52.00)

# ヘルスフード事業・海外事業の成長拡大

(新製品の投入と次期基軸品の育成)

**H F 事業**

**新規事業**

**海外事業**

ごぼう関連品、市販品の  
新たな価値の創造  
(研究開発とマーケティング力の強化)

**業務用食品事業**

業務用食品事業の質的成長と拡大  
(拠点整備とお客様への価値あるサービスの提供)

**人的資本経営の推進**  
(人材開発の強化、働き方改革の推進など)

**経営品質の向上**  
(企業価値、適正な株主還元など)

**収益性の改善**  
(販売価格の適正化、生産性向上への取組み強化)

■ 当社長期ビジョン“V30 ver.2.0”の投資計画に基づき、  
将来の持続的成長を実現するための戦略的投資を推進

機能強化・合理化

生産性向上

安全品質

労働安全

## 長期ビジョンV30 ver.2.0 投資計画に基づく投資額（億円）

2026年～2030年3月期での総投資額：140億円

### 主な投資

- 1) 営業所業務効率化に向けたシステム導入
- 2) 生産設備の機能増強と合理化  
・ 玉子焼焼成機、急速冷凍機増設  
・ 自動化、省人化へのロボット導入
- 3) 環境保全・負荷軽減への対応

30億円

2026年3月期

110億円

10億円～35億円／年での投資を計画

### 主な投資

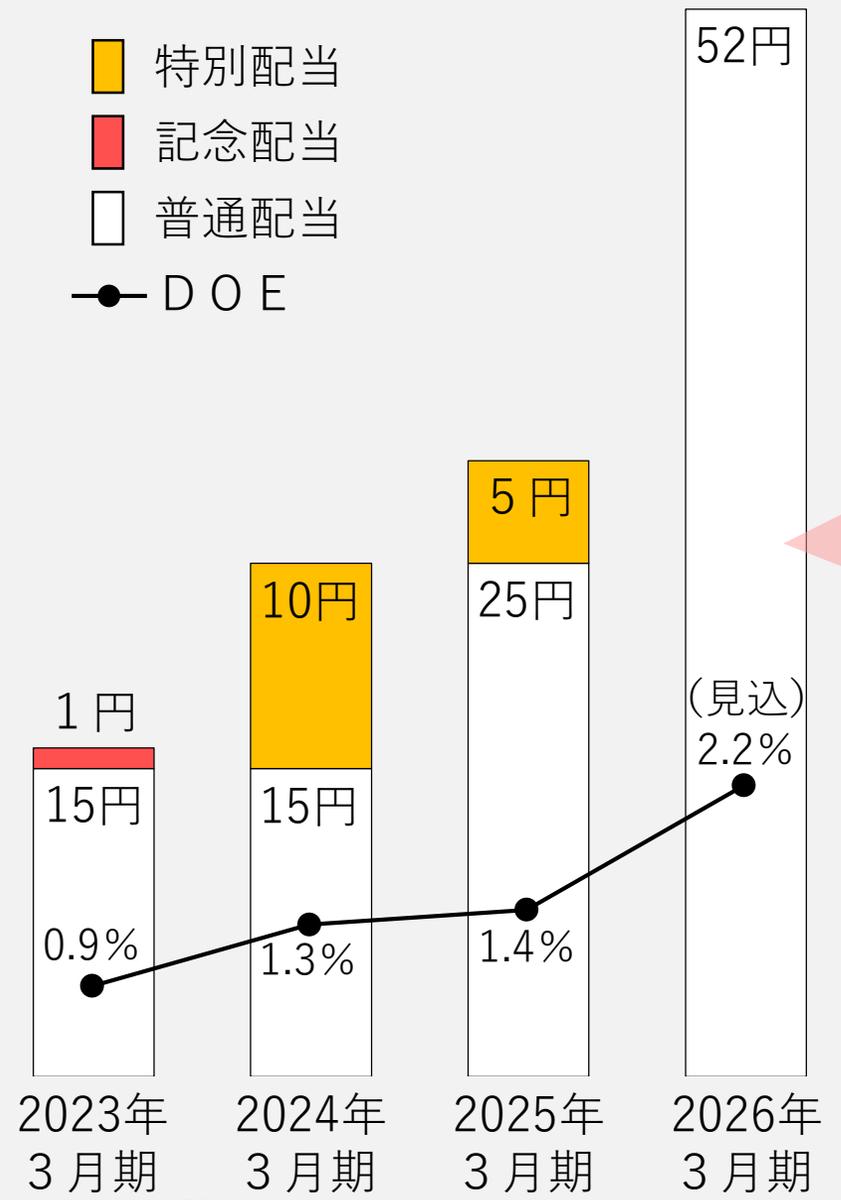
- 1) デポ機能の強化
- 2) 生産設備の合理化投資  
・ 生産ラインの自動化
- 3) 環境保全・負荷軽減への対応

2027年～2030年3月期

**4**

**株主還元**

# 株主還元 | 配当方針とその状況



## 【配当方針】

- ・ 長期的かつ安定的に利益還元を行う
- ・ 安定的に利益を創出し、持続的な成長拡大に向けた戦略投資や企業価値向上のための諸施策の展開に必要な内部留保を確保
- ・ 配当は自己資本配当率（DOE）などを指標とし、経営成績を勘案した成果配分とする

**普通配当**  
 2025年3月期 **25円へ引き上げ** ▶ 2026年3月期 **52円へ引き上げ** ▶ **さらなる増配を検討**

**目標DOE**  
 2027年3月期 **2.5%以上** ▶ 2030年3月期 **3.0%以上**

$$\text{DOE (自己資本配当率)} = \text{配当性向} \times \text{ROE (自己資本利益率)}$$

$\frac{\text{Dividend On Equity}}{\text{自己資本に対する配当の割合を表す指標}} = \frac{\text{配当総額}}{\text{純利益}} \times \frac{\text{ROE (自己資本利益率)}}{\frac{\text{純利益}}{\text{自己資本}}}$

## 株主優待制度 中間・期末に自社製品を贈呈

3月31日  
(5月下旬贈呈予定)

基準日

9月30日  
(11月下旬贈呈予定)

100株以上および  
半年以上保有の株主

対象者

500株以上および  
2年以上保有の株主

1,000円相当の自社製品

内容

▼ 2025年3月末の対象者への贈呈品 ▼

■ 500株以上2,000株未満  
2,000円相当の自社製品

■ 2,000株以上  
3,000円相当の自社製品



GOVOCE 1袋



国産焙煎ごぼう  
茶ごぼうのおかげW 5包

贈呈品の一部例



エビ玉ビーフン500g



ハンバーグ10個入



厚焼玉子500g

## その他配付物



事業報告書

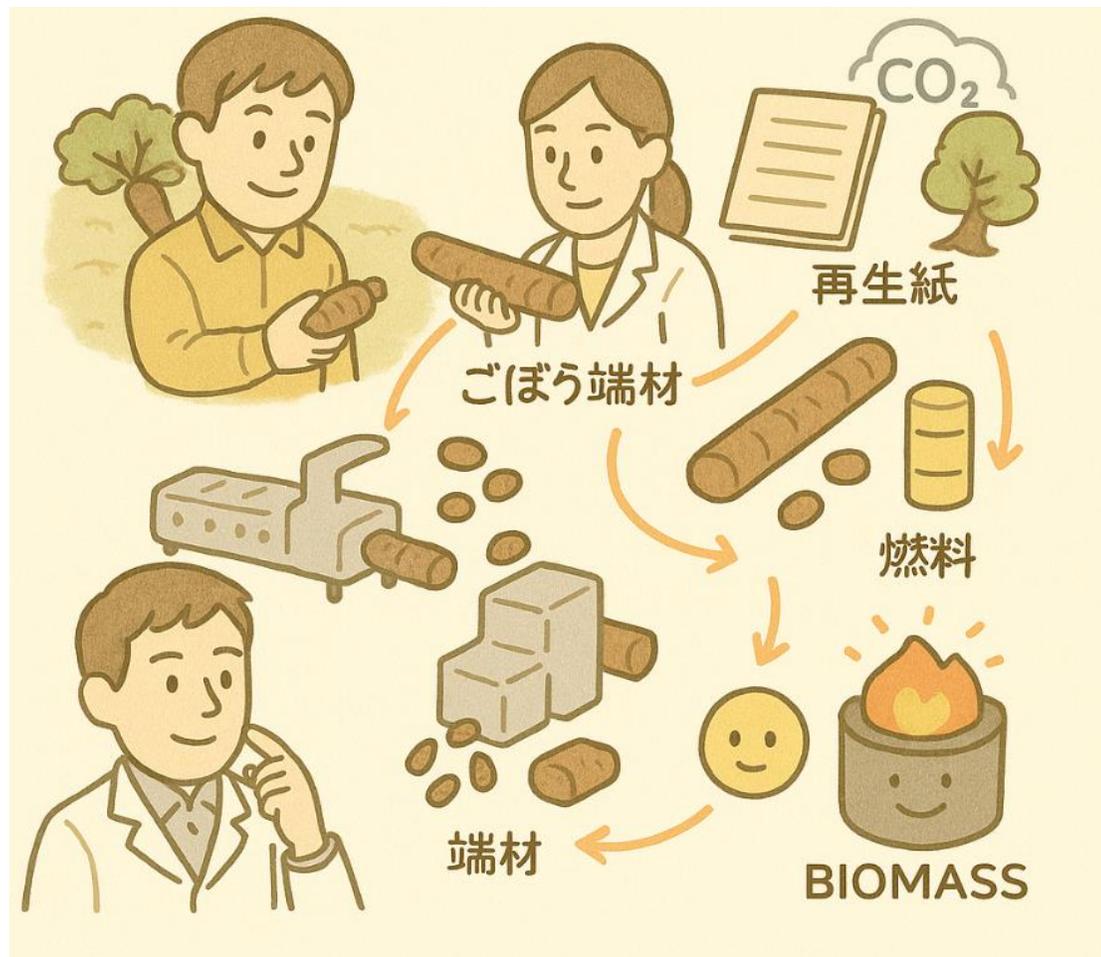


食に関する情報誌「膳」

# ⑤ サステナビリティへの取組



## ごぼう資材の有効活用



- 焙煎ごぼう・乾燥ごぼうの生産性向上
- カットロス（未利用部）の低減による食品ロスの削減
- ごぼう茶焙煎過程の残渣を紙袋へ活用

ごぼうの焙煎ロスを活用した紙袋



## 日本の伝統食“巻寿司”の啓蒙

- 幼稚園・小学校での巻寿司の食育活動の実施
- イベント出店による巻寿司の魅力普及
- 冷凍巻寿司への挑戦による食品ロスの低減



MAKIMAKI DANCE♪で子供のハートをキャッチ!

食のイベントにて新感覚巻寿司「炙りすしロール」を販売



## フードバンク活動への取組み



- フードバンク（子ども食堂など）への寄付活動
- フードドライブの実施

▼当社従業員を対象にフードドライブを実施



▲集まった物資はフードバンクへ寄付

# サステナビリティへの取組 | 重要課題と目標

取組テーマ	指標	2030年3月期 目標値 (※)	進捗状況	関連するSDGs
食品ロスの低減	工場工程内ロス	50%削減	45.8%削減	 
CO2排出量の低減	再生可能エネルギー比率	5%以上	2.4%	 
	エネルギー使用量	工場 20%低減 営業所 10%低減	2.9%低減 (工場) 1.0%低減 (営業所)	
	車両燃料使用量 (ガソリン+軽油)	30%低減	13.4%低減	
プラスチック包材の削減	プラスチック包材削減率	10%削減	10%削減	 
	新素材への切替	30%以上	—	

※2019年実績を基準として算出

人への想いが、かくし味。



**AHJIKAN STATEMENT**